

## 修了評価の方法

評価基準作成者： 馬淵 敦士  
畠 博思

評価方法及び合格基準	<ol style="list-style-type: none"><li>1 出題範囲 「(2) 介護における尊厳の保持・自立支援」から 「(9) ことごとからだのしくみと生活支援技術」までとする。</li><li>2 出題形式 四肢択一形式及び記述形式とする。</li><li>3 出題数 ・ 択一問題 20 問 (配点 80 点) 記述式問題 2 問 (配点 20 点) 全問正解：100 点満点</li><li>4 合否判定基準 60 点以上とする。</li><li>5 不合格になったときの取扱い ・ 結果発表後、直ちに補講のうえ再評価を行う。 なお、再評価に係る合格基準は 60 点以上とする。 補習料：1 時間あたり 3,150 円 再評価料 1,050 円 ・ 再評価の試験は、最大 3 回までとする。</li></ol>
------------	---